

神労基発 1007 第 1 号の 14

令和 3 年 10 月 7 日

公益社団法人神奈川労務安全衛生協会

代 表 者 殿

神奈川労働局労働基準部長



職場での転倒災害を予防するための取組の推進について（協力依頼）

～ 10 月 10 日の「転倒予防の日」を契機に職場環境の見直しを ～

平素より、労働安全衛生行政の推進につきましては、格段の御理解・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、最近の労働災害の状況は、職場での転倒災害が最も多い事故の型で、近年、増加傾向にあります。今年も前年同期比で約 5 % 増加し（令和 3 年 8 月速報値）、依然として高水準にあります。転倒災害の約 5 割強が休業 1 か月以上で、特に 50 歳代以上の女性で多く発生しており、転倒災害を予防することは、女性や高齢者が活躍できる社会の実現や生産性向上などの観点からも、大変重要な課題です。

こうした中で、このたび厚生労働省と消費者庁は、日本転倒予防学会と協力して、日本転倒予防学会が主唱する 10 月 10 日の「転倒予防の日」を契機に、国民に対する転倒予防の呼びかけを行うこととしました。

貴団体におかれては、現下の労働災害発生状況について、貴団体傘下会員に共有していただくとともに、「転倒予防の日」を契機に、別添の厚生労働省及び消費者庁の広報資料を活用して、職場での転倒予防の取組が広く実施されますようお願いいたします。

なお、消費者庁の広報資料においては、消費者に対して生活環境における転倒原因の減少を訴えつつ、外出時、店舗で危険を感じた際に、その旨店舗に伝えて必要な対応を依頼するよう呼びかけることとしています。

■ 厚生労働省の広報資料

資料 1 転倒災害発生状況

資料 2 リーフレット「事業主の皆様へ 安全・安心な職場づくりに取り組みましょう」

資料 3 厚生労働省・日本安全靴工業会・日本プロテクティブスニーカー協会作成
リーフレット「転倒予防のために適切な靴を選びましょう！」

資料 4 転倒・腰痛予防体操

【掲載場所】



<https://www.youtube.com/watch?v=9jCi6oXS8IY&feature=youtu.be>

資料5 小売業向け資料

- ・小売業の労働災害発生状況
- ・厚生労働省・日本転倒予防学会作成リーフレット（注意喚起用ミニポスター）「店頭での転倒に要注意」
- ・リーフレット「小売業事業主の皆さまへ 安全・安心な施設づくりに取り組みましょう」

■ 消費者庁の広報資料

資料6 消費者庁チラシ「毎日が#転倒予防の日～できることから転倒予防の取り組みを行いましょう～」

【掲載場所】

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_055/



資料7 消費者庁注意喚起「10月10日は「転倒予防の日」、高齢者の転倒事故に注意しましょう！～転倒事故の約半数は住み慣れた自宅で発生しています～」（令和2年10月8日）

【掲載場所】

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_040/assets/consumer_safety_cms204_201008_01.pdf



資料8 政府広報「たった一度の転倒で寝たきりになることも。転倒事故の起こりやすい箇所は？」（令和3年6月21日）

【掲載場所】

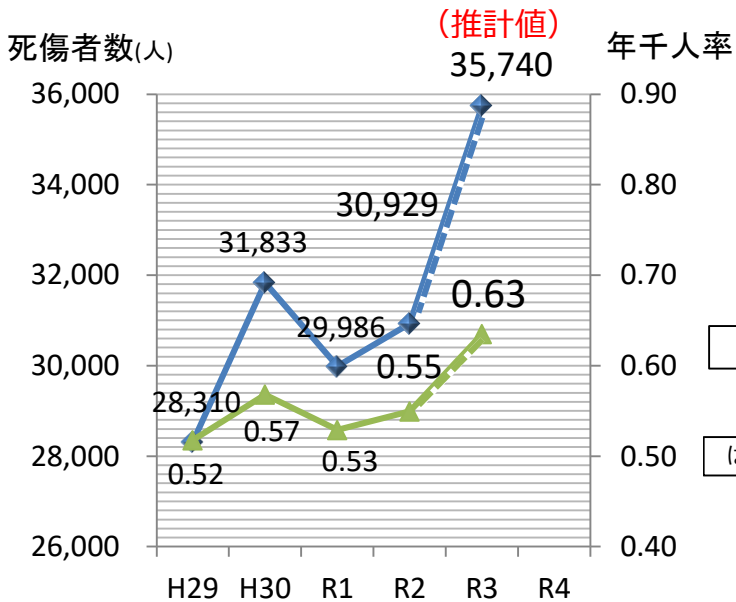
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202106/2.html>



転倒災害発生状況

転倒災害の推移

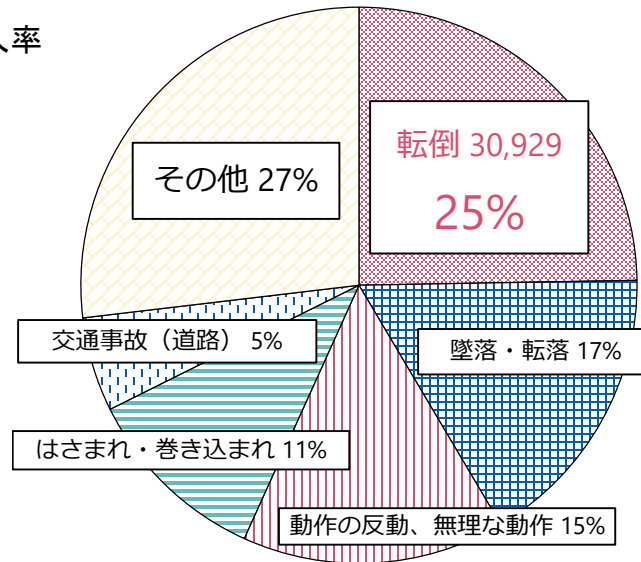
- 令和2年の**死傷者数**は
平成29年比で**9.3%増**
- 令和2年の**千人率**(労働者数に対する発生率)は
平成29年比で**8.7%増**



※新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く
 ※令和3年の数字は推計値(令和3年確定値(推計))
 = 令和3年9月速報値 × 令和2年確定値 / 令和2年9月速報値
 ※令和3年の千人率の母数の労働者数は令和2年の労働力調査を使用

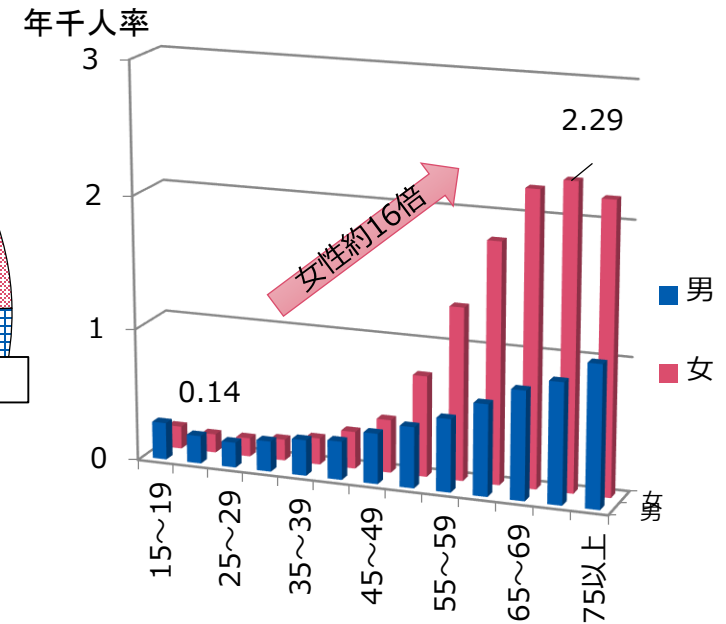
労働災害の発生原因(令和2年)

- 労働災害で「**転倒**」が最も多く**約25%**
(うち骨折などにより約6割が休業1ヶ月以上)



年齢階層別労働災害発生率(令和2年)

- **高齢になるほど増加傾向となり、
高齢の女性の労働災害発生率は特に高い**

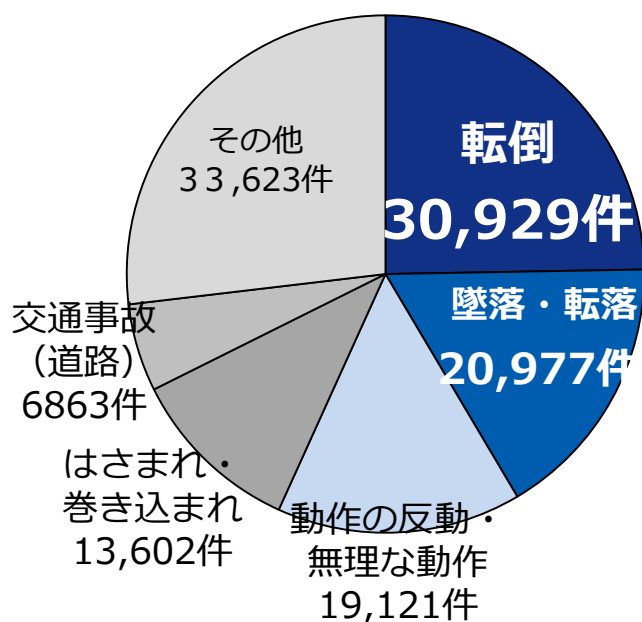


データ出所：労働者死傷病報告(令和2年)
 : 労働力調査(基本集計・年次・令和2年)

事業主の皆さまへ

安全・安心な職場づくり に取り組みましょう

職場における労働災害（年間125,115件）



出典：令和2年 労働者死傷病報告より
（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）

転倒
全体の
25%



職場での転倒災害の状況

労働災害のうち
転倒

25%

休業
1か月以上

約**6**割

女性

約**6**割

50代以上

約**7**割

出典：令和2年 労働者死傷病報告より

安全・安心な職場づくりのために、裏面の対策に取り組みましょう



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare



安全・安心な職場づくりのため 転倒防止の対策に取り組みましょう

作業場所の 整理整頓



作業場所の 清掃



毎日の運動



危険箇所の 見える化



手すりの 設置



滑りにくい 靴の着用



厚生労働省

ひと、暮らし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

従業員が安全・安心して働くために

整理・整頓 清掃・清潔

見た目にきれいなだけでなく、つまづいたり転んだりすることも減りました



厚生労働省のホームページで4S（整理・整頓・清掃・清潔）の方法を公開しています。



危険の見える化

危険の原因が誰から見てわかるので、事故やケガが減りました

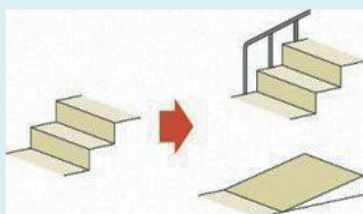


職場のあんぜんサイト『危険箇所の表示等の危険の「見える化」』を参考にしてください。



設備の改善

滑らず蒸れない靴のおかげで快適！
手すりの設置や段差を改修して安心！



職場環境の改善等のために、エイジフレンドリー補助金をご活用ください。



転倒・腰痛 予防体操

足を前に



足を後ろに



YouTubeで、転倒・腰痛の予防に役立つ「いきいき健康体操」をご覧ください。



あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう！

チェック項目		☐
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	☐
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	☐
3	通路や階段を安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	☐
4	靴は、すべりにくくちょうど良いサイズのものを選んでいますか	☐
5	転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	☐
6	段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけていますか	☐
7	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	☐
8	ストレッチや転倒予防のための運動を取り入れていますか	☐
9	転倒を予防するための教育を行っていますか	☐

チェックの結果は、いかがでしたか？

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイディアを出し合いましょう！

職場での **転倒** にご注意ください！

転倒予防のために 適切な「靴」を選びましょう

サイズ

靴と足はフィットしていますか？

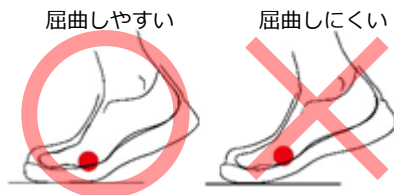
足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。



屈曲性

親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？

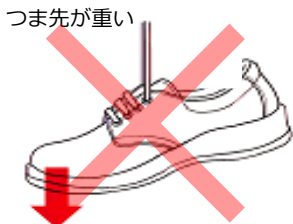
靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



重量バランス

靴の前後の重さのバランスはとれていますか？

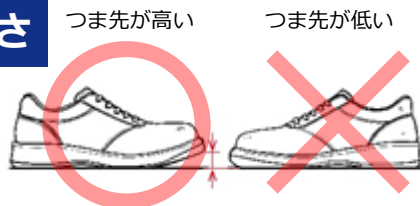
靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりにくく、つまずきやすくなります。



つま先部の高さ

つま先から床面まで一定の高さがありますか？

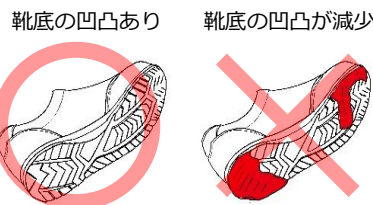
つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。



靴底の減り具合

靴底がすり減っていませんか？

靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります



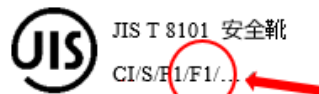
耐滑性の有無

靴の滑りにくさを確認していますか？

耐滑性を有する靴は、以下の箇所で確認できます。

■安全靴の場合

個装箱のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください



■プロスニーカーの場合

靴のべろ裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるかを確認してください。



その他の性能

■静電気帯電防止性

静電気帯電による放電着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能



■かかと部の衝撃エネルギー吸収性

かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能



■耐踏抜き性

釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能



STOP！転倒災害プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体は、労働災害のうちで最も件数が多い「転倒災害」を減少させるため、「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。

STOP！転倒

検索



先芯がいない作業環境で使用する耐滑靴の探し方

作業時に着用する靴の安全性は、作業環境の状況に応じて決められています。
先芯（安全性を確保するために靴のつま先部分に入れる）を履く必要がない作業環境の場合でも、耐滑靴を着用しなければならないことがあります。
その場合、先芯入りの安全靴やプロスニーカーであれば、靴の表示で耐滑性を確認できますが、先芯入りでない靴は表示で耐滑性を確認することができません。
その場合は下記のメーカーへご相談ください。

職場の状況に適合する靴を紹介できるよう、以下の項目を参考に職場の作業環境等もご説明ください。

■ 作業中に重量物を取り扱うことがあるか

重量物を取り扱う場合、安全靴を着用してください



■ 作業中や作業後に水を取り扱うことがあるか

水を取り扱う場合、靴の表面素材は人工皮革製・ゴム製が最適です



■ 床の材質 塗り床／タイル／カーペット 等 床の材質で適合する靴底が変わります



■ 滑りが発生する場合の状況

滑りが起きた状況によって対策が変わります

- (例)
- ・物につまづいた
→運搬と通路改善
 - ・濡れた床で滑った
→水・油用耐滑靴検討
 - ・凍結路面で滑った
→氷用耐滑靴検討



詳しくはメーカーや販売店にご相談ください

耐滑靴取り扱い店・メーカー

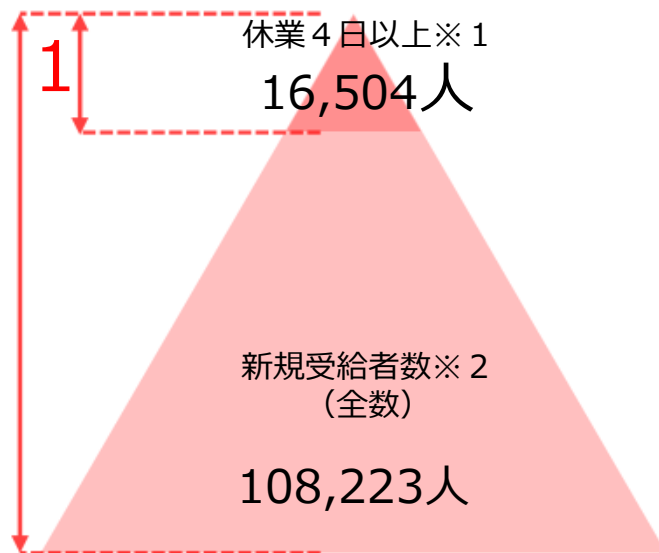
会社名	電話番号	関連商品URL
弘進ゴム株式会社	022-214-3021	https://www.kohshin-grp.co.jp/FormMail/shoes/
株式会社シモン	0120-345-092	https://www.simon.co.jp/contact/
日進ゴム株式会社	086-243-2456	http://www.nisshinrubber.co.jp/contact/index.html
株式会社ノサックス	082-425-3241	www.nosacks.co.jp
株式会社丸五	086-428-0232	https://www.marugo.ne.jp
ミズノ株式会社	0120-320-799	https://sports-service.mizuno.jp/btob_service
ミドリ安全株式会社	03-3442-8293	https://midori-fw.jp/

小売業の労働災害発生状況

- 小売業の労働災害（休業4日以上）のうち業態別では、食品スーパー、総合スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、コンビニエンスストアの順に多い。
- 上記全ての業態で転倒が最多で、動作の反動・無理な動作が次に多い。

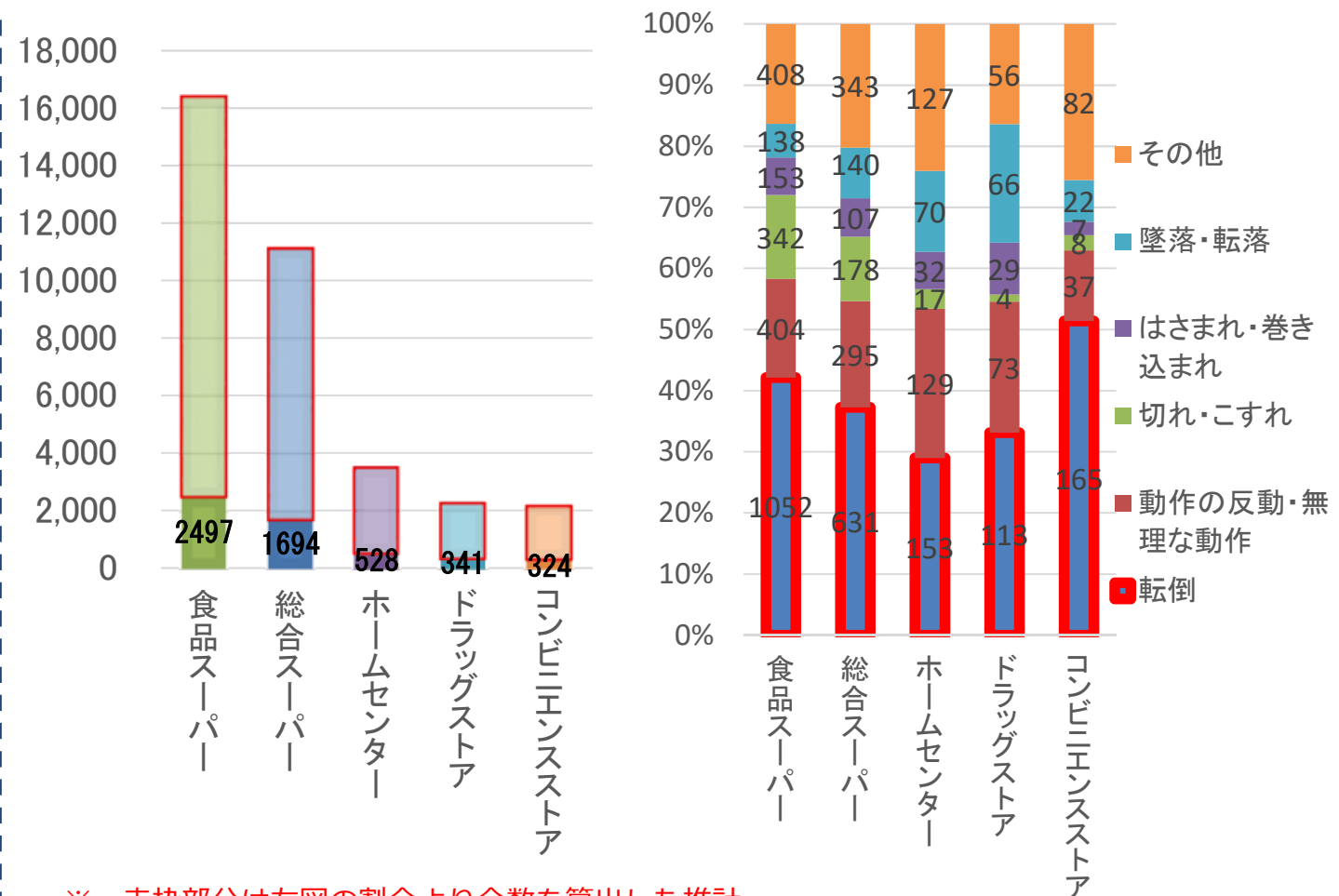
卸売業・小売業の労働災害発生状況

全体の労働災害は、
休業4日以上の労働災害の約7倍



※1 平成29年労働者死傷病報告より
 ※2 平成29年度労働者災害補償保険事業年報より
 (新規受給者数は通勤災害を含む年度単位の集計)

小売業の業態別死傷者数（上位5業態） 小売業の業態別・事故の型別死傷者数



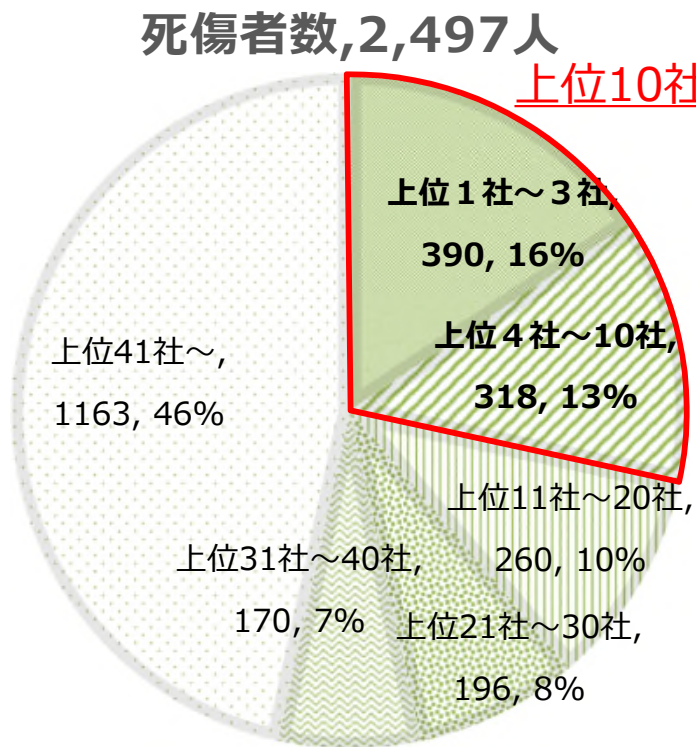
※ 赤枠部分は左図の割合より全数を算出した推計

出典：平成29年 労働者死傷病報告を元に中央労働災害防止協会が集計したものより抜粋

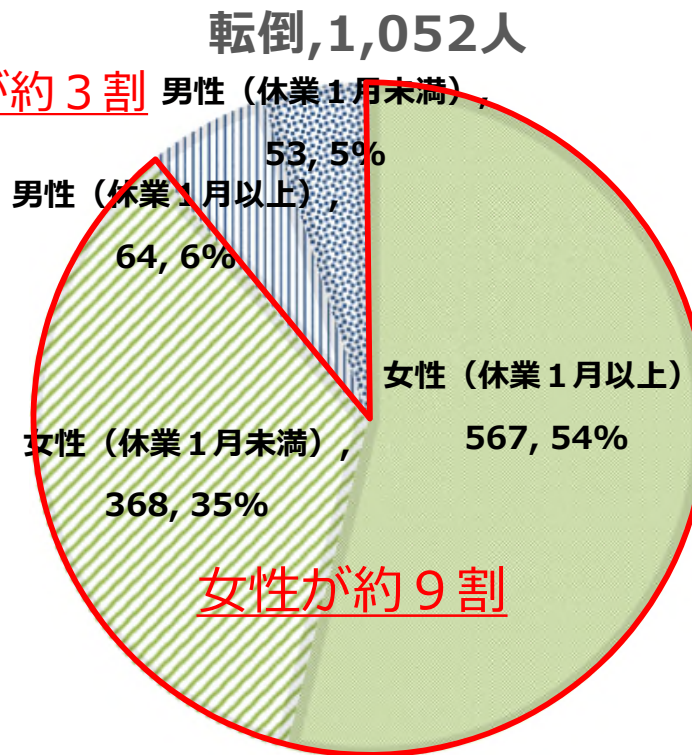
食品スーパーの労働災害発生状況

- 転倒の約9割が女性で、そのうちの約6割が休業1月以上。高齢となるほど多く、50代以上では骨折が約7割。

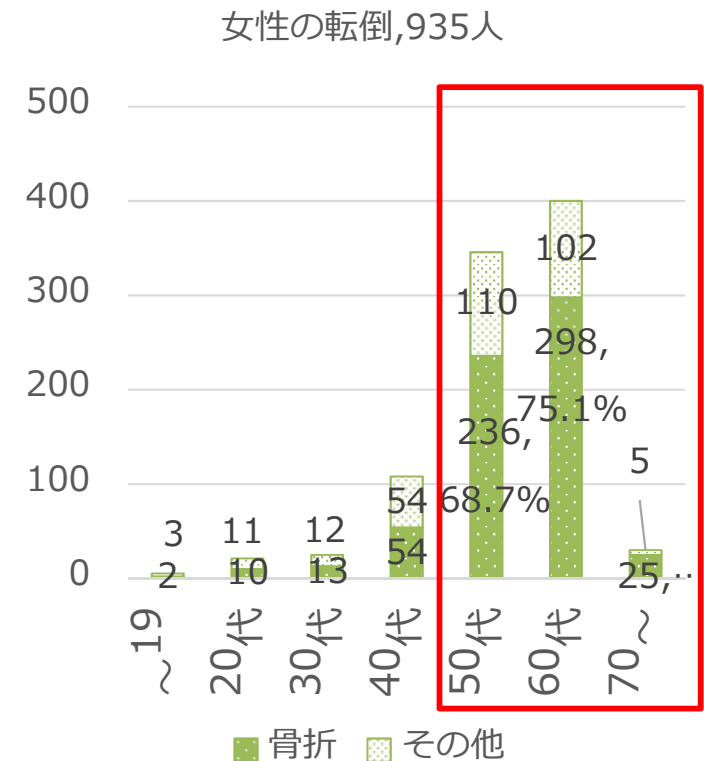
企業単位別



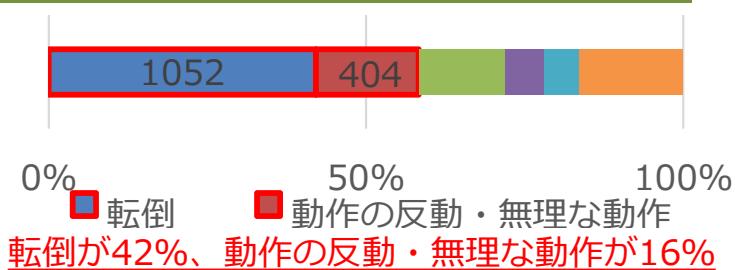
転倒災害 性別・休業期間別



転倒災害 傷病性質別・年代別



事故の型別



女性の転倒の約6割が休業1月以上

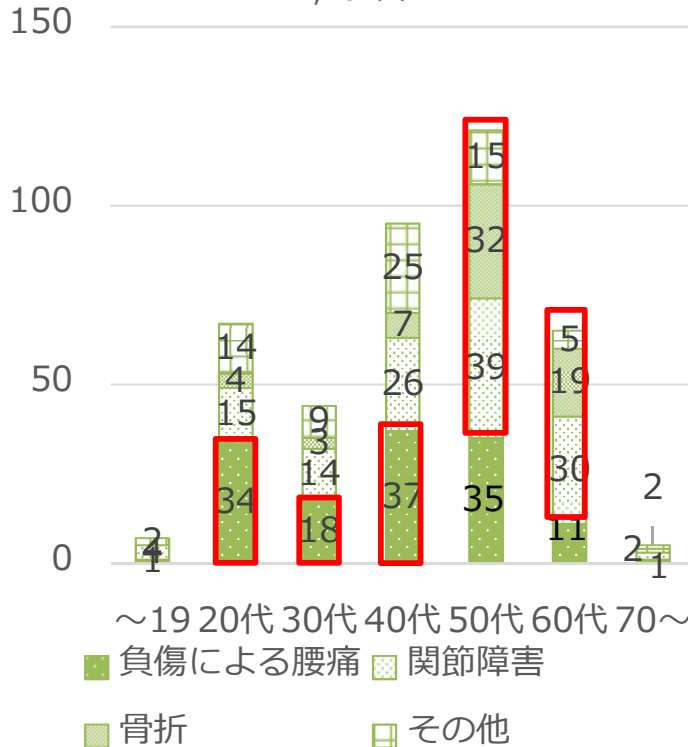
高齢となるほど多い
50代では骨折が約7割

食品スーパーの労働災害発生状況

- 動作の反動・無理な動作による労働災害は、**40代まででは腰痛が最多**。**50代以降は関節障害、骨折が多くなる**。
- 転倒災害を場所別で推計すると**36%が店舗内**、**24%がバックヤード**で発生。**店舗内での転倒災害のうち、つまづきによるものが48%**。**バックヤードでの転倒災害のうち、滑りによるものが46%**。

動作の反動・無理な動作 年代別・傷病性質別

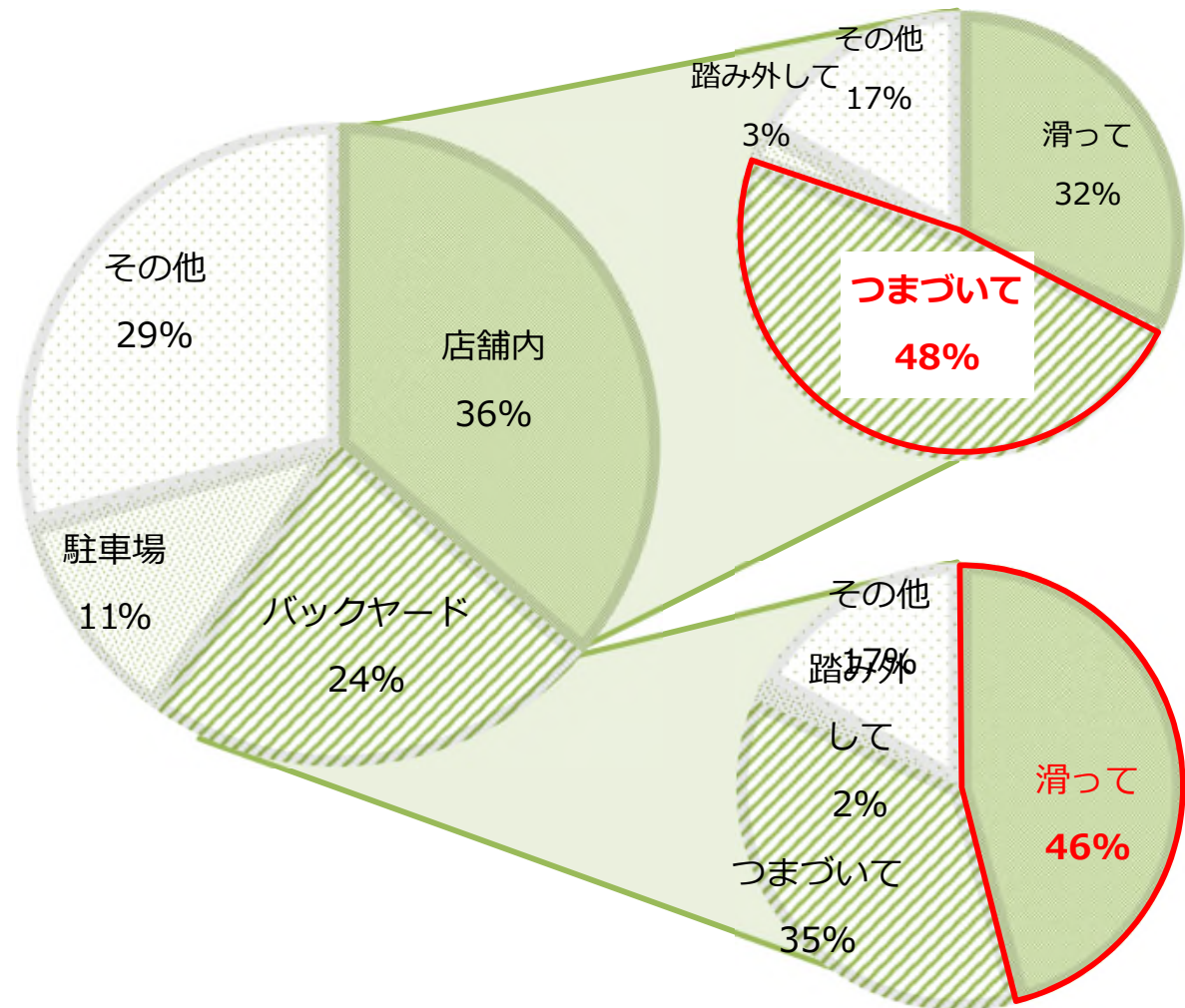
動作の反動・無理な動作
4,044人



50代以降で関節障害、骨折が多い

転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年に食品スーパーで発生した転倒による労働災害1,052件から502件を抽出して集計したもの

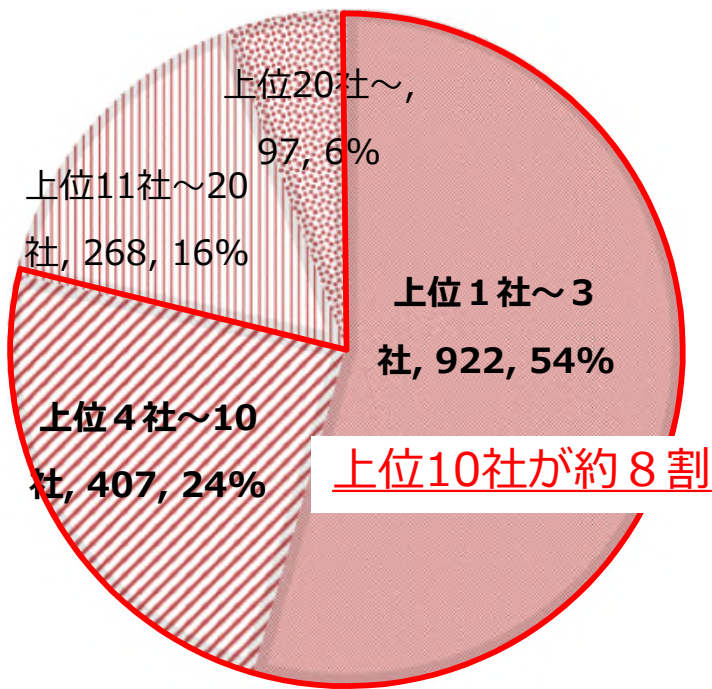


総合スーパーの労働災害発生状況

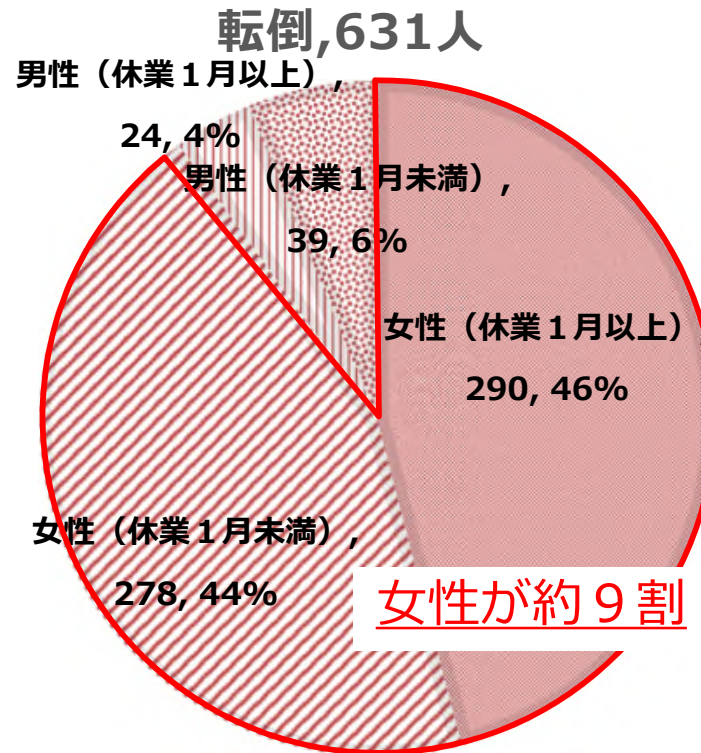
- 転倒の約 9 割が女性で、そのうちの約 5 割が休業 1 月以上。高齢となるほど多く、50代以上では骨折が約 7 割。

企業単位別

死傷者数,1,694人

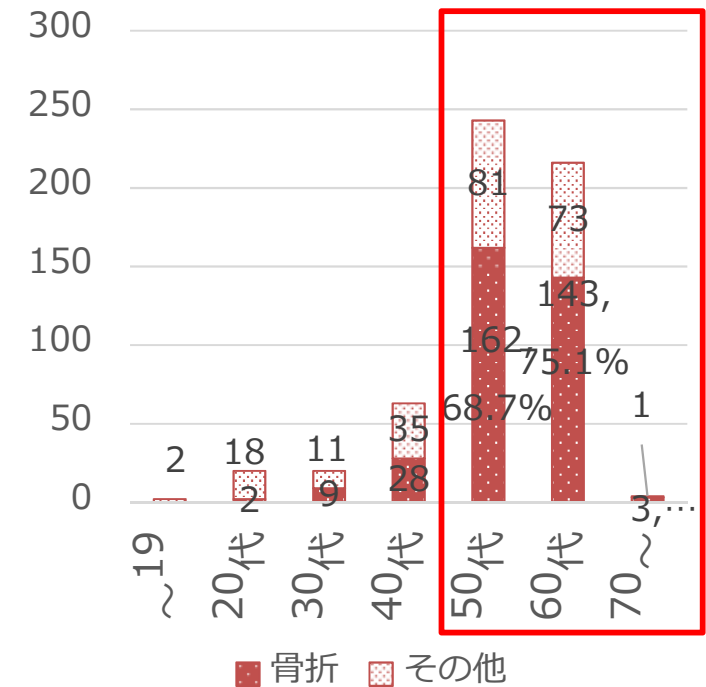


転倒災害 性別・休業期間別

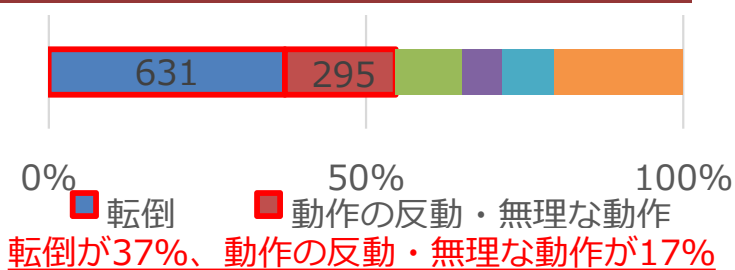


転倒災害 傷病性質別・年代別

女性の転倒,568人



事故の型別



女性の転倒の約 5 割が休業 1 月以上

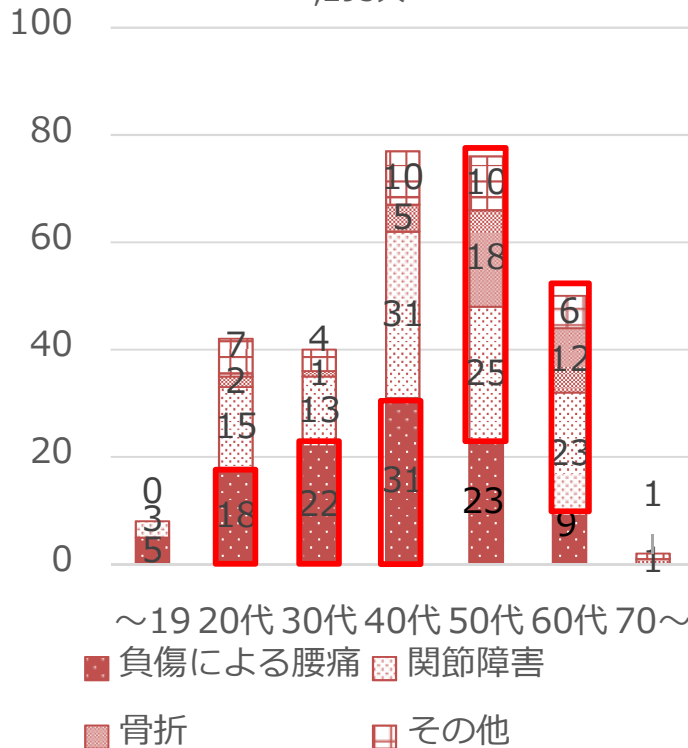
高齢となるほど多い
50代では骨折が約 7 割

総合スーパーの労働災害発生状況

- 動作の反動・無理な動作による労働災害は、**40代まででは腰痛が最多**。**50代以降は関節障害、骨折が多くなる**。
- 転倒災害を場所別で推計すると**46%が店舗内**、**28%がバックヤード**で発生。**店舗内での転倒災害のうち、つまづきによるものが56%**。**バックヤードでの転倒災害のうち、滑りによるものが40%**。

動作の反動・無理な動作 年代別・傷病性質別

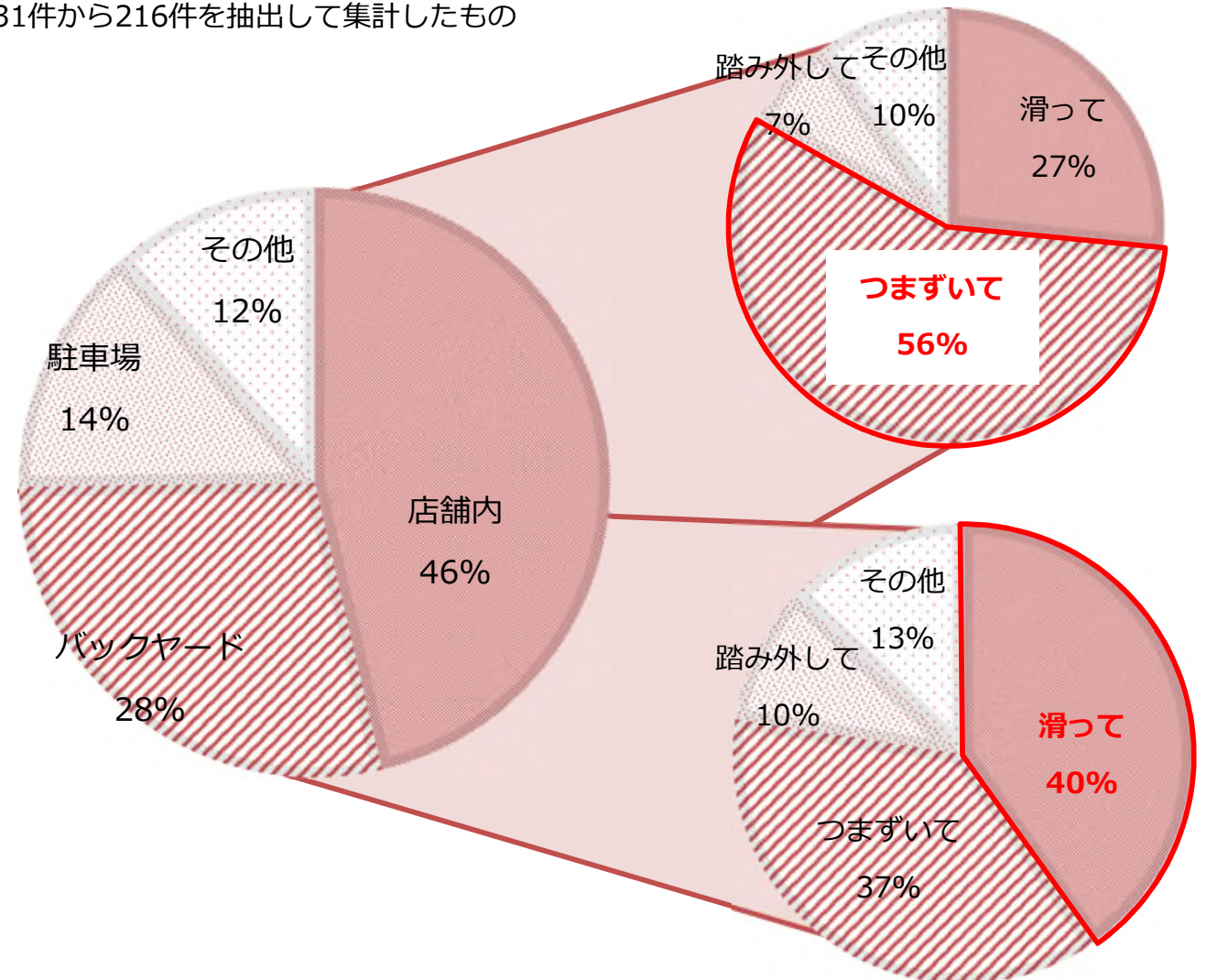
動作の反動・無理な動作
295人



50代以降で関節障害、骨折が多い

転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年に総合スーパーで発生した転倒による労働災害631件から216件を抽出して集計したもの

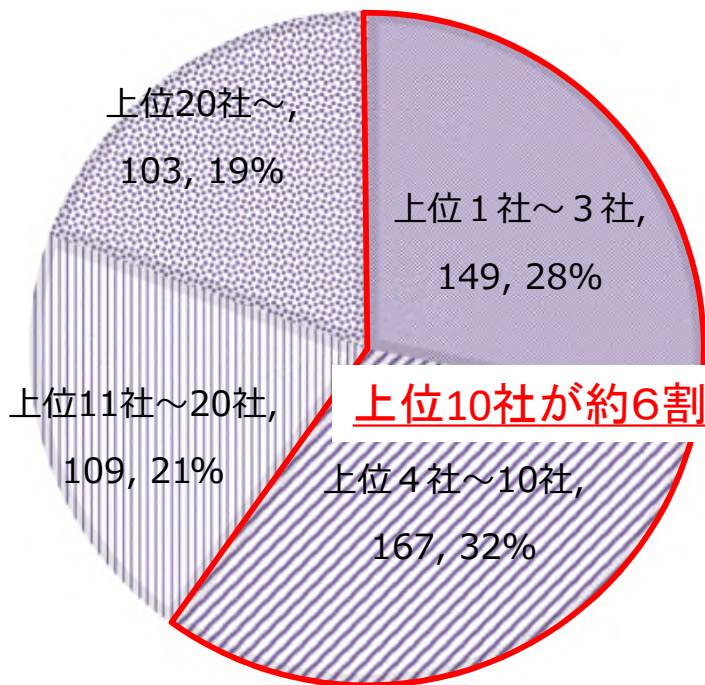


ホームセンターの労働災害発生状況

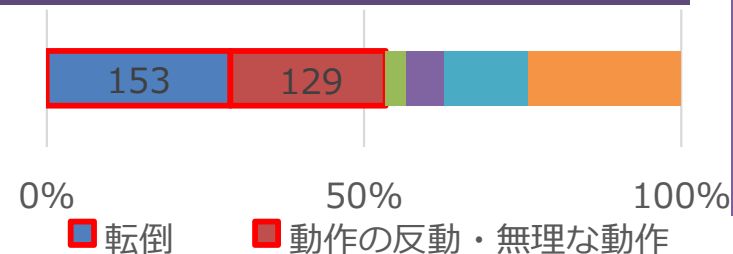
- 転倒災害を場所別で推計すると店舗内で発生したものが54%。店舗内の転倒災害のうち、つまづきによるものが50%。
- 動作の反動・無理な動作は商品運搬作業中に発生したものが62%。

企業単位別

死傷者数,528人



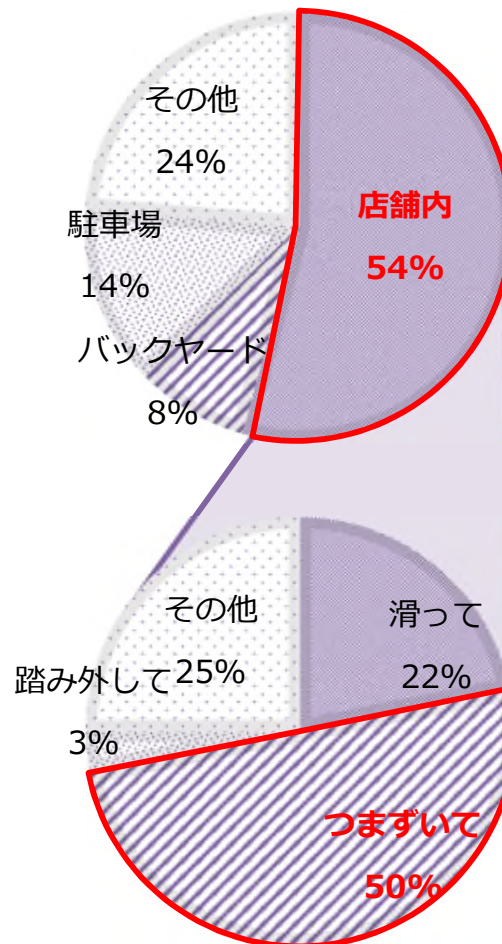
事故の型別



転倒が29%、動作の反動・無理な動作が24%

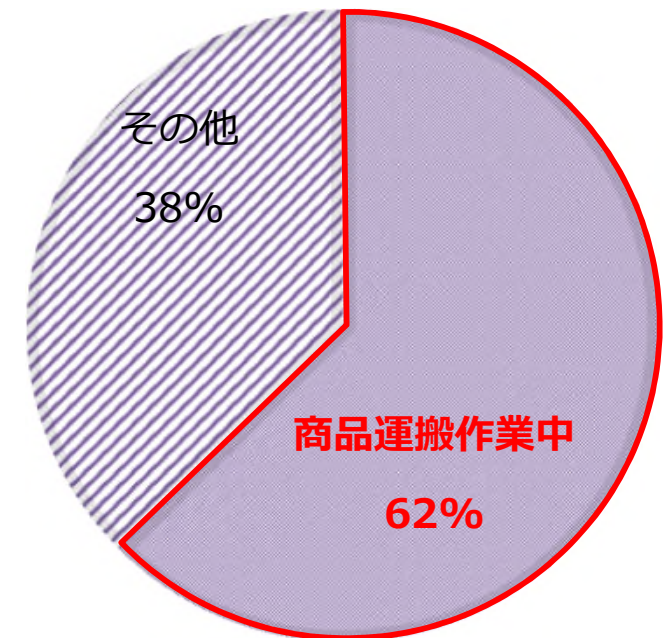
転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にホームセンターで発生した転倒による労働災害153件から59件を抽出して集計したもの



動作の反動・無理な動作 作業別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にホームセンターで発生した動作の反動・無理な動作による労働災害129件から48件を抽出して集計したもの

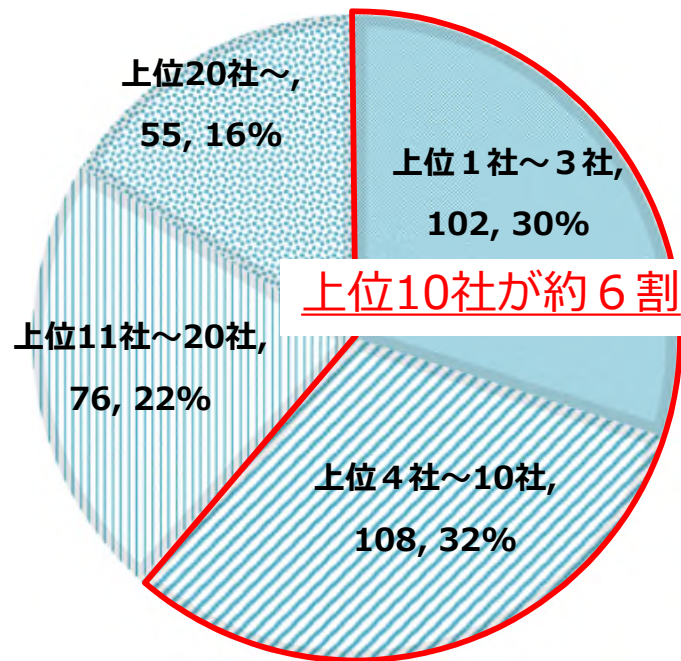


ドラッグストアの労働災害発生状況

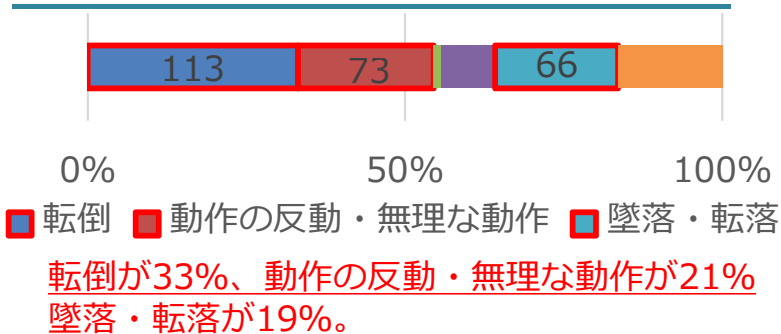
- 転倒災害を場所別で推計すると店舗内で発生したものが40%。店舗内の転倒災害のうち、つまづきによるものが56%。
- 墜落・転落災害のうち脚立からのものが80%。

企業単位別

死傷者数,341人

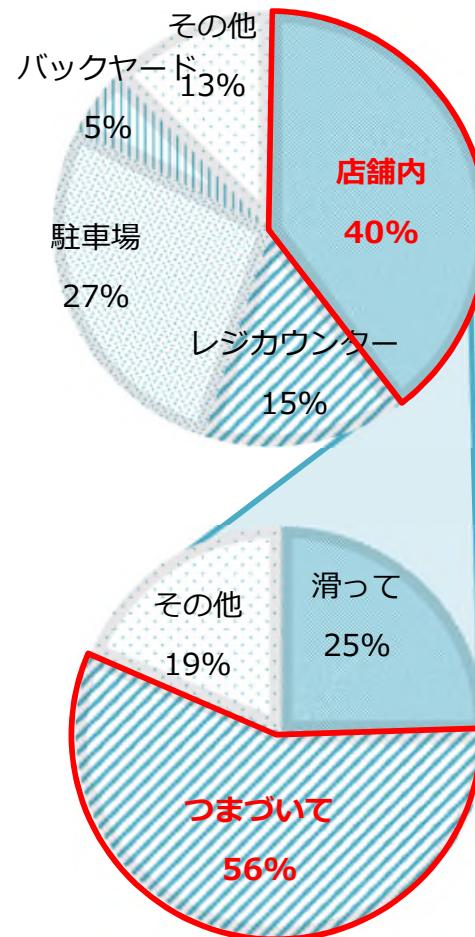


事故の型別



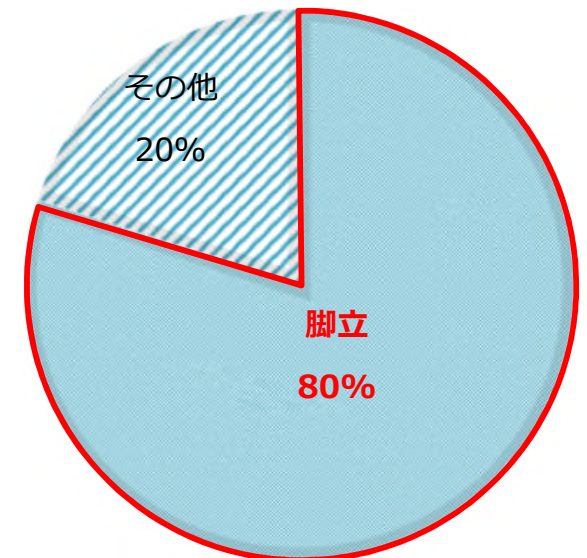
転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にドラッグストアで発生した転倒による労働災害113件から40件を抽出して集計したもの



墜落・転落災害 起因物別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にドラッグストアで発生した墜落・転落による労働災害29件から10件を抽出して集計したもの

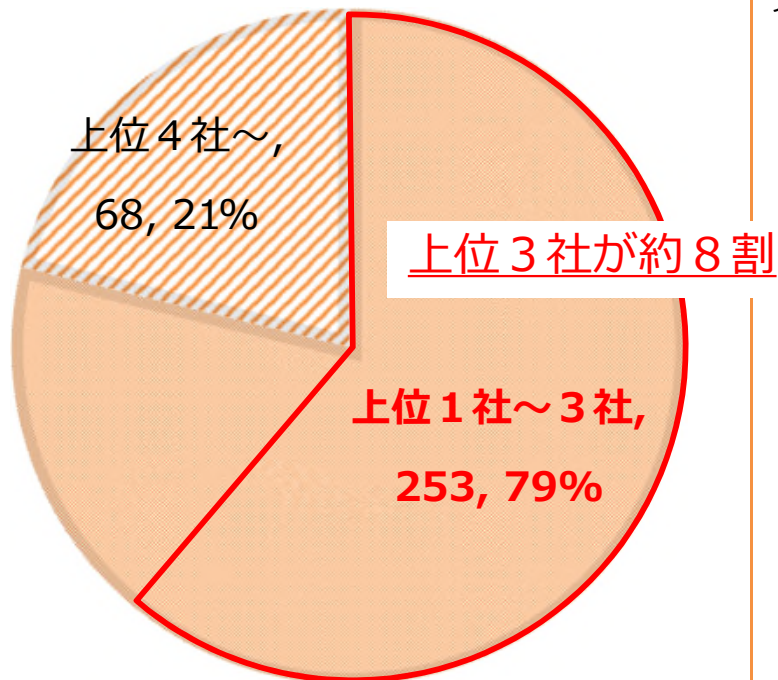


コンビニエンスストアの労働災害発生状況

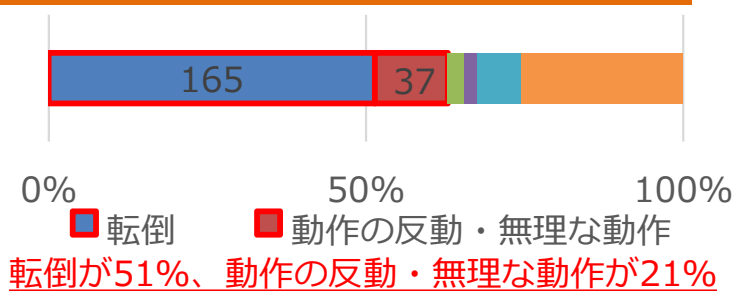
- 転倒災害を場所別で推計すると**店舗内で発生したものが40%、レジカウンターで発生したものが21%。**
- 店舗内での転倒災害のうち、**つまづきによるものが39%。**レジカウンターでの転倒災害のうち、**つまづきによるものが83%。**

企業単位別

死傷者数,321人

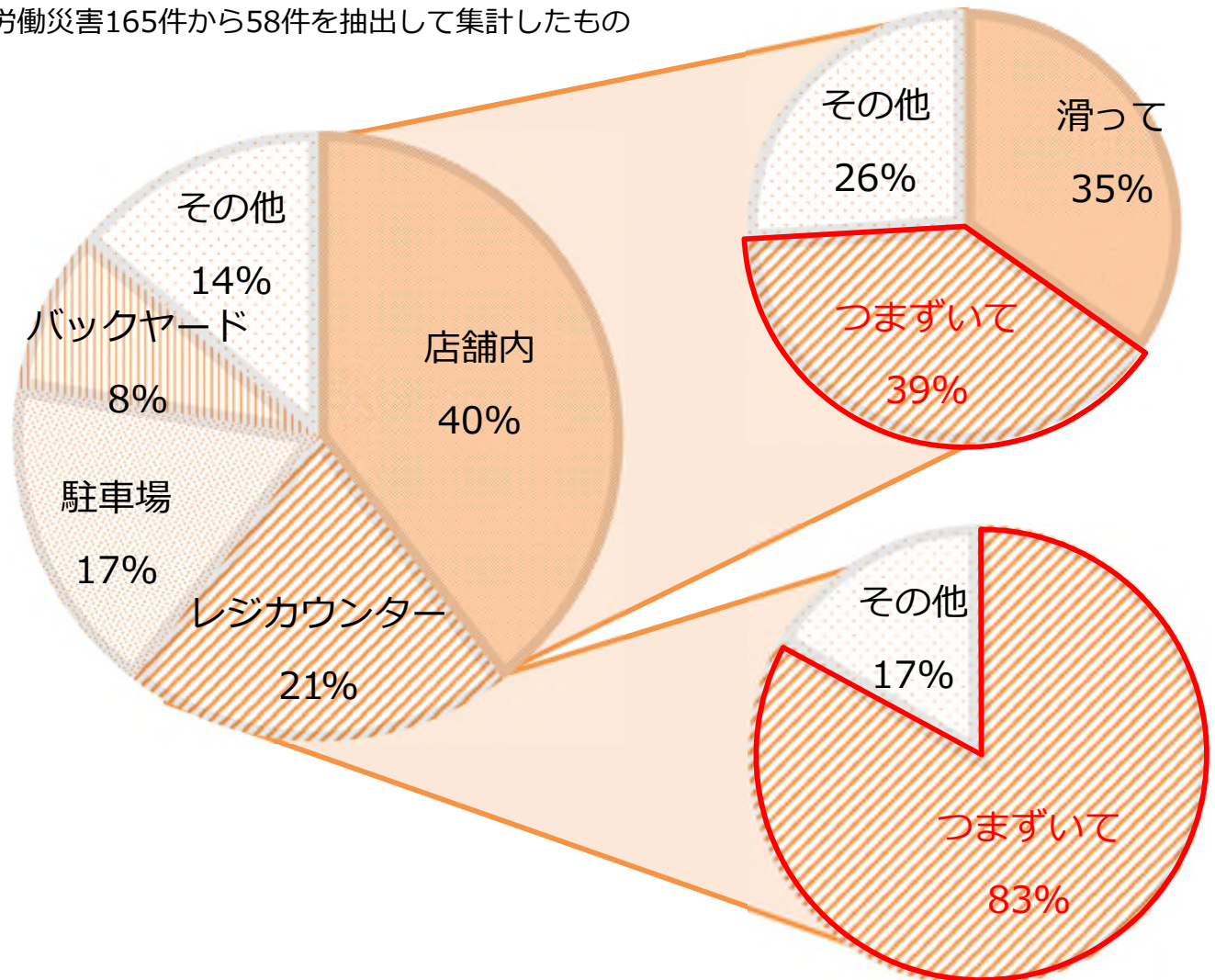


事故の型別



転倒災害 発生場所別・要因別

以下のグラフは、労働者死傷病報告で平成29年にコンビニエンスストアで発生した転倒による労働災害165件から58件を抽出して集計したもの



滑り

つまづき

踏み外し

店頭での転倒に要注意

でんとう
10月10日は
転倒予防の日



滑り止め
つけておきたい
口と足

数字で見る
食品スーパーでの転倒

労働災害の
うち転倒

約 **4** 割

休業1か月以上

約 **6** 割

女性

約 **9** 割

50代以上

約 **8** 割

出典：平成29年 労働者死傷病報告より

2015年・転倒予防川柳大賞作品（東京都 佐川 晶子）



厚生労働省



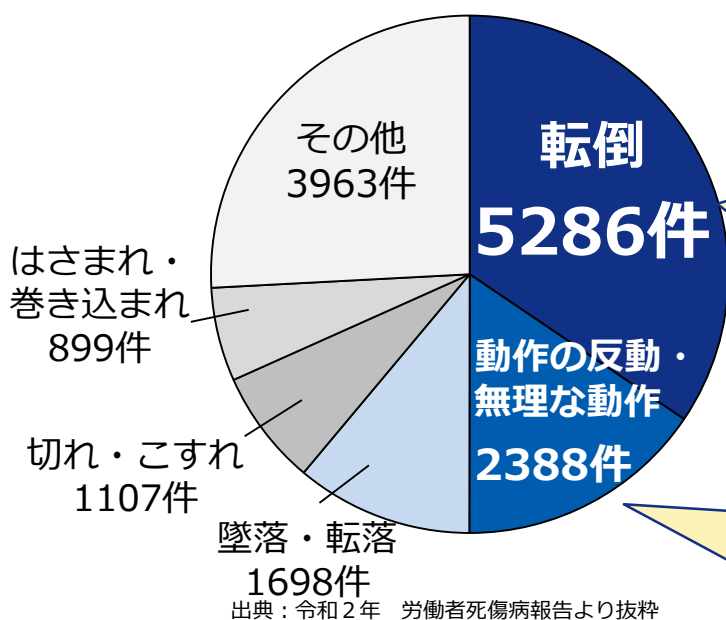
日本転倒予防学会

店長から従業員の皆さまへのお願い

小売業事業主の皆さまへ

人材確保のためにも 安全・安心な施設づくりに取り組みましょう

小売業における労働災害（年間総15341件）



転倒

全体の

34%



動作の反動
無理な動作

全体の

16%



転倒リスクがある場所



出典：政府広報オンライン



出典：政府広報オンライン

例えば食品スーパーの転倒災害状況

出典：平成29年 労働者死傷病報告より

労働災害のうち
転倒

約4割

休業
1か月以上

約6割

女性

約9割

50代以上

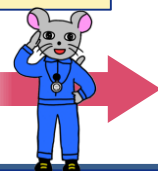
約8割

安全・安心な施設づくりのために、裏面の対策に取り組みましょう



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare



利用者・従業員の 安全・安心な施設づくりのため 下記の対策に取り組みましょう

作業場所の
整理整頓



作業場所の
清掃



毎日の運動



危険箇所の
見える化



手すりの
設置



滑りにくい
靴の着用



持ち物の
制限



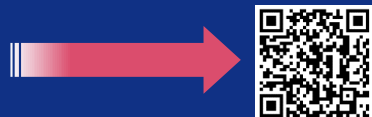
重い物は
2人で保持



台車の利用



安全で安心な店舗・施設づくりに取り組みましょう！
詳しくはこちらをチェック！



小売従業員が安心して働くために

整理・整頓 清掃・清潔

見た目にきれいなだけでなく、つまづいたり転んだりすることも減りました



厚生労働省のホームページで4S（整理・整頓・清掃・清潔）の方法を公開しています。



危険の見える化

危険の原因が誰から見てもわかるので、事故やケガが減りました



厚生労働省ホームページで「職場の危険の見える化（小売業）実践マニュアル」をご覧ください。



設備の改善

滑らず蒸れない靴のおかげで快適！



うっかり手を切る心配がありません！

段ボール専用カッターを使用する。



職場環境の改善等のために、エイジフレンドリー補助金をご活用ください。

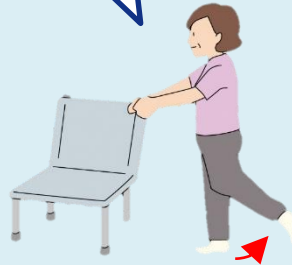


転倒・腰痛 予防体操

足を前に



足を後ろに



YouTubeで、転倒・腰痛の予防に役立つ「いきいき健康体操」をご覧ください。

